

サーキット・ライダー2007年 1月号

夢幻ではなく現実のものに

見よ、わたしは新しい天と新しい地を創造する。初めからのことを思い起こす者はない。それはだれの心にも上ることはない。世々としえに喜び楽しみ、喜び踊れ。わたしは創造する。見よ、わたしはエルサレムを喜び踊る物としてその民を喜び楽しむものとして、創造する・・・狼と子羊は共に草をはみ獅子は牛のようにわらを食べ、蛇は塵を食べ物とし、わたしの聖なる山のどこにおいても害することも滅ぼすこともない、と主は言われる。 イザヤ 65：17-25.

新年明けましておめでとうございます。「本当に今年は御めでたい年であって欲しいものだ。」と思っていましたら、元日のニューヨーク・タイムズが一面でイラクに派遣されているアメリカ兵の犠牲数が三千人を超えたと報道し、後の方で殉職した兵士たちの顔写真を載せていました。殆どが20代、30代の若い男性で、若干女性の兵士も混じっていました。これらの人の多くが妻子や、親、兄弟姉妹が故郷で待っていました。このままアメリカ軍がイラクに駐留すれば殉職者の数は2001年9月11日の世界貿易センタービルのテロで亡くなった人の数を追い越してしまいます。「テロの撲滅」「二度と同じ悲劇を繰り返さない為」の戦いで、テロと同じ数の犠牲者をアメリカだけでも出し、イラクの一般市民、各国からの派遣兵の殉職数を加えるとテロの数倍も犠牲者を出しているこの愚かな戦いをいったい何時止めるのでしょうか。テロとの戦いではなく今や多くの中東の人々、アジアの人々が「イスラム教とキリスト教の戦い？」と思い込んでいます。その背景には現大統領の政権基盤が南部の保守キリスト教徒に依存していることにあります。私も以前、アメリカ人の超保守クリスチャンと話をしたことがあります。彼は戦争を頭から肯定し「アメリカの自由を守るため犠牲者が出ても仕方ない。」と彼らの主張を繰り返していました。アメリカさえ良ければ他の国、民族はどうでも良いのか？私は「アメリカの自由」という発言を聞く度に憤りを覚えます。

話は変わりますが、暮れにNHK番組を放送している TV-Japan でスペシャル番組「ビザンチン帝国」を見て感銘を受けました。ビザンチン帝国とは東方教会（現ギリシャ正教、ロシア正教等）を国教として発展した東ローマ帝国の別称で、4世紀末に巨大化しすぎて統制のとれなくなったローマ帝国が西ローマ帝国と東ローマ帝国に分断してできた国です。西は5世紀に滅びてしましますが、東は15世紀まで続きビザンチン文化と呼ばれるヨーロッパと中東アジアの文化が交わる独自の文化を創り出し、皇帝自らがキリスト教の長として教会、修道院、美術を擁護、発展させました。そんな時代6世紀に東ローマ帝国の支配下だったエジプトで、旧約聖書の出エジプト記でモーセが登った山として知られているシナイ山の麓にエカテリナ（聖キャサリン）修道院が発足しました。世界で最も古い修道院だそうです。しかしこのシナイ地方は7世紀のモハメッド・イスラム教の台頭で戦争の脅威にさらされます。それまでバラバラだった中近東の列国はイスラム教の下にまとまり巨大なイスラム国家が誕生しイスラエルをはじめ、現在のシリア、トルコまでその手に下ります。その危機をエカテリナ修道院は正に奇策で生き延びます。なんと修道院の中の彼らの礼拝堂、尖塔の隣にイスラム教のモスクを建て、「私たちには敵意はありません。イスラム教徒を歓迎いたします。」とモハメッド一行を迎え入れたのです。そのことでモハメッドは彼らを認め、キリスト教の修道院の存続を許しました。奇策を打ち出した修道院もですが、イスラム教徒、彼らの偉大な預言者であったモハメッドもなんと太っ腹な人物だったことかと私は感心しました。

この修道院は初めこそサバイバルの為イスラム教徒を受け入れましたが、その後はいつでもイスラム教徒を受け入れ、砂漠のベドウィンやイスラム商人を泊め、今でも厨房や修道院の修理には現地のイスラム教徒を雇い、食事も共にしています。また修道士が礼拝する時間にイスラム教徒たちが回廊やモスクでメッカに向かって祈りを捧げることを容認しています。皮肉なことにエカテリナ修道院を虐待し存続の危機に陥れたのは10世紀にローマカトリック教会が扇動した十字軍だったそうで、キリスト教徒の同士の争いが最も厄介なのは今も昔も同じだなあとつくづく思いました。エカテリナ修道院は今もイスラムの人たちと共存共栄しています。ともすると敵同士になってしまう関係も神の御心を行えばイザヤ書の預言のように美しい関係になれるのだなあと思いました。一方では殺し合いが続くこの世界で、必ず争いの無い神の国のような世界が実現できる。そのことを信じて止みません。 吉松 純

礼拝は毎日曜日午後4時です。

祈りたい方の為にチャペルを午後3時30分より開放しています。どうぞご利用ください。

1月 7日：自由祈祷会、礼拝：聖餐式、J r. 教会：新年の約束、正月の遊び。

14日：自由祈祷会、礼拝、J r. 教会：おはなし会

21日：自由祈祷会、礼拝、J r. 教会：カルタ作り、書初め？

28日：自由祈祷会、礼拝、J r. 教会：奉仕を学ぶ

2月 4日：自由祈祷会、礼拝：聖餐式、J r. 教会：節分にちなんだ行事

行事予定と報告

*18日(木) 午前10時からフォートリーベタニア合同メソジスト教会で聖研。

*26日(金) 午前10時30分より牧師館にて聖書の学び。マルコによる福音書第四章。佐藤彰牧師の本を使つての学び。

*毎週火曜日午前10時より教会カウンセリング・ルームにてアメリカ人の婦人会メンバーと聖書研究会(英語)があります。英語を学びたい方、聖書に興味ある方は是非ご参加下さい。

1月は2日、9日は休会し、16日から再開します。

御協力お願い致します。献金のあて先は UMC-JA とし、寄付のあて先を Note に記してください。

*ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。

*消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協会(JOCS)に送ります。JOCS海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。

*ケニヤの恵まれない子供達やエイズの患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。

*パターソンのSt. Philip 伝道と社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

連絡先：英語オフィス(201) 391-5499 日本語オフィス兼ファックス (201) 505-0347

吉松牧師 (201) 391-2208 pastor@umc-japan.org 代表役員：松尾孝恵姉 Takae17A@aol.com

教会学校担当：吉松 泉姉 izumi.sakaguchi@gmail.com ホームページ：<http://umc-japan.org> *牧師雑記帳にコメントを入れられるようになりました。ご覧下さい。

Happy New Year!